

## 必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。  
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (53,000円) 上記は2026年4月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得・更新の方): パスポート新規申請代 (5年用9,000円 / 10年用14,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途) このご旅行には2026年7月19日以降のパスポート有効期限が必要です。(+2週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 115,000円 (ホテルは基本2名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



## ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2026年4月1日現在を基準としています。  
■旅行契約の解除  
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。  
<取消料>  
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただけます。  
<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って40日前以降	旅行費用の10%
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行費用の100%

## ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
  - ①企画手配料金および手配料金
  - ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金
  - ③宿泊費: 旅程表に記載したホテル又は同等クラスのホテル (弊社基準) 基本宿泊料および税、サービス料 ※基本2名一室です。
  - ④食事代 (旅程表に明示) ⑤見学施設の入場料 ⑥ガイド代
  - ⑦現地協力者の謝礼・同行費用・交流代 ⑧通訳者・講師謝礼・同行費用
  - ⑨添乗員1名同行費用
- 旅行代金に含まれないもの
  - ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
  - ②超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分の手荷物運搬料金
  - ③個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
  - ④航空会社が課す 成田空港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃 (53,000円) 2026年4月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
  - ⑤海外旅行傷害保険料
  - ⑥日本国内の交通費、前泊の費用 ⑦お一人部屋追加料金 (115,000円)

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

**株式会社 富士国際旅行社** 〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4  
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201  
fuji@fits-tyo.com 担当: 山田・西須(さいす)・川村・小島


営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00 (休業日: 土日・祝日)  
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

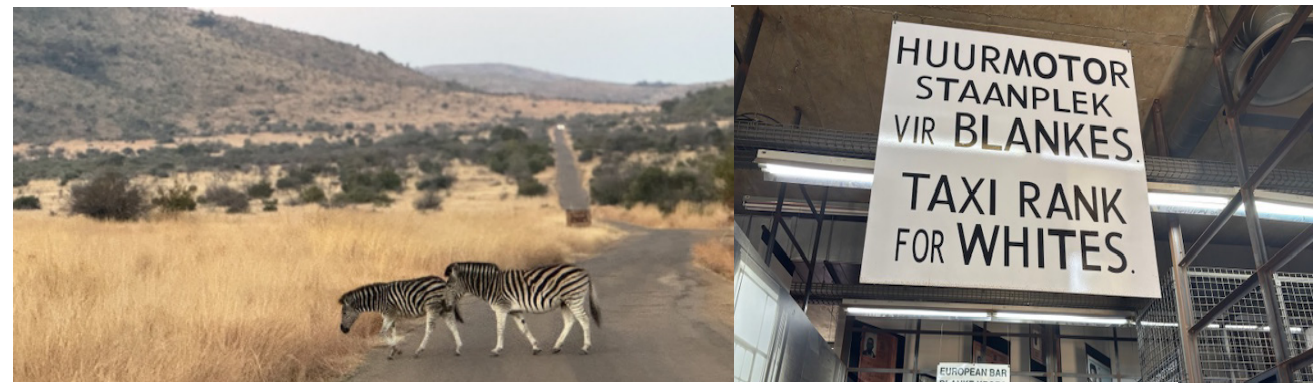
## お申込方法

- ①【紙でお申込みの場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブでお申込みの場合】下記QRコードにアクセスし、申込みフォームを送信して下さい。

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 核兵器禁止条約(TPNW)第1回再検討会議議長国 南アフリカ平和交流の旅 2026年9月15日(火)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日 ( ) 歳	ウェブ申し込みはこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券 (パスポート) 【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 - )			
連絡先	【tel】 ( ) - -	【fax】 ( ) -	【携帯】 - -	
	【e-mail】			



## 核兵器禁止条約(TPNW)第1回再検討会議 議長国 南アフリカ 平和交流の旅

旅行期間 **2026年9月15日(火)～9月24日(木) 10日間**

旅行代金 **871,000円** (東京発着) ※左記費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・日本空港施設使用料・保安料53,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。

定員 **20名様** (最低実施人員15名) 申込締切 **8月5日(水)**

添乗員 羽田または成田空港から1名同行します ※定員に達し次第締切となります。締め切り日以降は、空席がありましたらご案内可能ですが、追加料金が発生する場合がございます。お問い合わせください。

point

- 01 人種差別と闘った黒人初の大統領、ネルソン・マンデラの足跡をたどります
- 02 7,000種以上の野生動物が自然のままに暮らしているピラネスバーグ国立公園でサファリ体験!
- 03 ヨハネスブルグ大学やアフリカ民族会議(ANC)を訪問 脱植民地化や核問題について地元の方と交流します
- 04 喜望峰、ボルダーズビーチなど、ケープタウンの見どころを満喫

Peace Green Humanity

旅行企画・実施 **(株)富士国際旅行社**

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4

※写真は全てイメージです

# 核兵器禁止条約(TPNW)第1回再検討会議 議長国 南アフリカ平和交流の旅

日次	都 市 名	摘 要	宿 泊 ・ 食 事
① 9/15 (火)	羽田 / 成田 発 経由地着 / 発	空路、経由地で乗り継ぎ、南アフリカ・ヨハネスブルクへ	機 中 泊 Bx Lx D機
② 9/16 (水)	経由地着 / 発	ヨハネスブルク国際空港着 <市内見学> *アパルトヘイト博物館*ネルソン・マンデラ記念センターオブメモリー *コンスティテューションヒル	サントントン泊 B機 LR DR
③ 9/17 (木)	ヨハネスブルク	<大学で市民交流・脱植民地化・核問題を考える> *ヨハネスブルグ大学 *アフリカ民族会議(ANC)	サントントン泊 B機 LR DR
④ 9/18 (金)	ソ ウ ェ ト	陸路、専用車でソウェトへ(所要時間:約40分) <マンデラゆかりの地> *マンデラハウス *ヘクター・ピーターソン博物館 *ヨハネスブルグホロコースト&ジェノサイドセンター	サントントン泊 BH LR DR
⑤ 9/19 (土)	ピラネスバーグ	<ピラネスバーグ国立公園> 終日:国立公園にてサファリ	サントントン泊 BH LR DR
⑥ 9/20 (日)	ヨハネスブルク発 ケープタウン着	ホテル発、ヨハネスブルグ国際空港へ 空路、ケープタウンへ ケープタウン着後、ホテルへ移動	ケープタウン泊 BH LR DR
⑦ 9/21 (月)	ケープタウン発 ロベン島着  ロベン島発 ケープタウン着	<マンデラゆかりの地> ケープタウンからフェリーでロベン島へ(所要時間:約30分) *世界遺産:ロベン島 >マンデラが18年収監されていた刑務所 見学後、フェリーで再びケープタウンへ *テーブルマウンテン ケーブルウェイ *ワイナリー-GROOT CONSTANTIA	ケープタウン泊 BH LR DR
⑧ 9/22 (火)	ケープタウン	<ケープタウン見学> *喜望峰 *ポルダーズビーチ *チャップマンズ・ピーク	ケープタウン泊 BH LR DR
⑨ 9/23 (水)	ケープタウン 経由地着	ケープタウン国際空港へ移動 空路、経由地へ	機 中 泊 BH L機
⑨ 9/24 (木)	経由地発 羽田 / 成田着	朝:経由地で乗り継ぎ、帰国の途へ 羽田/成田着、解散	

※現地事情によりコース前後の変更をさせていただく場合がございます。受入先の都合により、視察訪問先が変更になる場合がございます。

**旅程表マーク** 食事条件: B=朝食、L=昼食、D=夕食、H=ホテルで、R=レストランで、機=機内食、x=自由食、OP=オプション・ツアー ※機内食は、航空運賃にふくまれる航空会社が提供するサービスです。有料あるいはサービスがなくなった場合は各自お取りいただけます。

**利用予定航空会社** ●シンガポール航空 ●日本航空 ●カタール航空 ●南アフリカ航空 など  **利用予定ホテル** サントントン=Southern Sun Sandton ケープタウン=Southern Sun Cape Sun ※または同等クラスのホテル



ネルソン・ホリシャジャ・マンデラ(1918-2013) 元・南アフリカ共和国大統領(黒人初の大統領)

*"I was not born with a hunger to be free.I was born free - free in every way that I could know."*

1918 誕生  
1944 アフリカ民族会議(ANC)青年団を設立、51年に議長  
1955 反逆罪で逮捕、裁判中も扉の中から活動  
1961 ウムコント・ウェ・シズウェ(民族の槍)共同設立  
1964 国家反逆罪で終身刑宣告、ロベン島刑務所投獄

1990 27年ぶりに釈放  
1993 ノーベル平和賞受賞  
1994 南アフリカ共和国大統領 就任  
1999 政界を引退、ネルソン・マンデラ基金 設立

## 旅のポイント・見学地



### アパルトヘイト博物館

ヨハネスブルグ中心部から南東へ約8kmの距離に位置するアパルトヘイト博物館。2001年に開館し、人種隔離政策「アパルトヘイト」に関する資料を数多く展示しています。アパルトヘイト政策からの解放、1994年の民主化まで、南アフリカの歴史を学ぶことができます。

博物館の入り口は「WHITES(白人)専用」「NON-WHITES(非白人)専用」に分けられ、来館者はチケットに記された方の入口から入場するなど、アパルトヘイト政策の一部を追体験できる仕組みになっています。



### 世界で最も美しい街の一つ「ケープタウン」

南アフリカ発祥の地として「マザーシティ」の愛称を持つ港町「ケープタウン」。ヨハネスブルグに次ぐ南アフリカ第2の大都市で、議会が置かれる立法の首都でもあります。豊かな自然に恵まれ、南側には街の象徴であるテーブルマウンテン、周囲にはアフリカ大陸最南西端の喜望峰、野生のケープペンギンの保護区域で海辺の楽園とよばれるポルダーズビーチなど、見どころが盛りだくさんです。



### ネルソン・マンデラ記念センターオブメモリー

ヨハネスブルグの郊外ホートンにあるネルソン・マンデラ基金による施設で、2004年に設立されました。マンデラの最後の住居から数百メートルほどの距離で、彼の生涯や社会正義に献身してきた軌跡など、数々の業績を保存・展示しています。マンデラが投獄されていた際にしたためた手紙や、大統領退任後に使用していた執務室などを見ることができます。



### 歴史的世界遺産 ロベン島

ロベン島はケープタウンから約12km沖合のテーブル湾にある島です。ハンセン病患者の隔離施設や精神病院、国防訓練基地など、島の役割はその時代とともに移り変わってきました。ネルソン・マンデラやウォルター・シスルをはじめ、反アパルトヘイトの活動家たちが収容された刑務所として知られています。1996年に刑務所は閉鎖。1997年には政府の管理下で博物館として一般公開、1999年には世界遺産に登録され、現在に至ります。



## 南アフリカの基本情報

**【正式国名】**南アフリカ共和国 **【首都】**プレトリア  
**【人口】**6302万人(2024年推定) **【言語】**英語、アフリカ  
ンズ語、ズールー語、コサ語、ツワナ語などが公用語。  
2023年7月、手話を12番目の公用語に追加 **【時差】**日本より  
7時間遅れ **【通貨】**ランド(Rand) **【宗教】**大半がキリス  
ト教。他にヒンズー教、イスラム教、伝統宗教

## 南アフリカの国旗



黒:国民の大部分を占める黒人、緑:農業、赤:独立と人種平等の戦いのために流された血、黄:豊かな鉱物資源、白:白人、青:南アフリカの空

## 南アフリカの気候

南アフリカの気候は、地域によって異なり、温帯の乾燥気候、地中海性気候、西岸海洋性気候、サバナ気候などがあります。南半球のため、日本とは季節が全く逆になります。9月は冬から春への移行期で、日中は暖かく快適ですが、朝晩は冷え込む日が多く、朝晩の寒暖差が大きいのが特徴です。ケープタウンヨハネスブルグでは、最高気温が18~23℃、最低気温が11℃前後と、快適に過ごせる陽気です。

9月気温	ヨハネスブルグ	ケープタウン	東京
最高	24℃	21℃	27℃
最低	9℃	12℃	24℃



## South Africa 全図

